



聞いて、

訊いて、

効いていく。

かくわ浩幸

ひろ ゆき

討議資料

話を聞く。
疑問を訊く。
まちづくりに効く。

8年間の議員生活で、行政に反映できず歯がゆい思いもありました。町の政治の主人公は議員ではありません。町民です。そんな当たり前のことが目に見えるまちづくりを、私はめざします。美瑛町の基幹産業は第一次産業です。町の基幹産業である農業。その喜びもその苦しみもその課題も、私は身をもって知っています。農家は大地に種まく人です。そして実を結ばせる人です。それは、まちづくりの仕事と通じるところがあります。この町で働く、農業・商工業・観光業から、会社員、カメラマン、起業家という多彩な担い手たち。みんなの経験やアイデアという種をまき、成熟させ、まちづくりの場で実らせていきたい。小さな町だから、自由にいきいきと。声や意見を聞き出し、疑問を訊いて、成果をあげる。「効く政治」を実現したい。小さな町だから、しっかり回る循環型経済に変えていきたい。あなたの話を聞かずして、次の美瑛町は、はじまりません。

若者へのメッセージ

挑戦し、羽ばたくためのステージは用意します。もし失敗しても受け止め、やり直すことのできる場もつくります。目標をもってがんばる人を応援します。世界に飛び出していきたいければ、どんどん出て行ってください。そしていつか大きな経験と自信を持って美瑛に帰ってきてください。

子育て世代へのメッセージ

子育ては親だけがするものではありません。子供は地域、町の宝です。地域みんなで親を支え、子供を育てていく環境を整えます。また、働くことは生きがいでもあり、自己実現の場でもあります。存分に活躍するためのバックアップに努めます。

高齢者へのメッセージ

いつまでも地域で、満ち足りた生活を送れるようにします。友達といつでも笑い合い、新しい出会いもある場をつくります。生涯現役の時代です。必要とする人のために働き、やりがいのある活動をいつまでも続けることのできる環境を整えます。そして、病になったとしても、できる限り家で、地域で過ごすことができる医療福祉連携を進めます。